学校番号	J3025

令和5年度　理科

学年	3	週授業コマ数	4	授業時数(45分)		標準授業時数(50分)	○
使用教科書	未来へ広がるサイエンス （啓林館）						
副教材等	新中学問題集　理科3年						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この科目は、英語と日本語の両方て゛行われます。両言語て゛専門用語を学んて゛いきますので゛、時間をかけて用語の復習をするようにしてくた゛さい。また、学習する自然現象に関しては、「自分の言葉て゛説明か゛て゛きるレヘ゛ル」を目標に、理解に努めてくた゛さい。
学習ノートは復習の基盤となります。しっかりと学習の記録とふり返りをするようにしてください。

2　学習の到達目標

(1)自然の事物・現象についての理解を深め，科学的に探究するために必要　な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
(2)観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。
(3)自然の事物・現象に進んで関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	身近な現象を日常生活や社会と関連付けなか゛ら、それら の観察、実験なと゛に関する技能を身につけること	身近な現象について、問題を見出し見通しをもって観察、実 験なと゛を行い、様々な現象に関する規則性や関係性を見出 して表現すること	知識及ひ゛技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に着けたりすることに向けて粘り強く取り組もうとすること
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	化学変化とイオン	1章　水溶液とイオン 2章　電池とイオン 3章　酸・アルカリと塩	a:原子・イオンの概念をベースとし、電池のメカニズムや酸・アルカリの概念を様々な事象を例にしながら十分理解できている。 b:原子・イオンの概念をベースとし、電池のメカニズムや酸・アルカリの概念を様々な事象を例にしながら理解できている。 c:原子・イオンの概念をベースとし、電池のメカニズムや酸・アルカリの概念を様々な事象を例にしながらあまり理解できていない。	期末テスト 単元テスト 実験レポート	実験レポート プレゼンテーション	学習ノート 実験レポート プレゼンテーション

	生命の連続性	1章　生物の増え方と成長 2章　遺伝の規則性と遺伝子 3章　生物の種類の多様性と進化	a:生命の連続性、遺伝・生殖及び遺伝子の組み合わせ等について十分理解できている。 b:生命の連続性、遺伝・生殖及び遺伝子の組み合わせ等について理解できている。 c:生命の連続性、遺伝・生殖及び遺伝子の組み合わせ等についてあまり理解できていない。	期末テスト 単元テスト 実験レポート	実験レポート プレゼンテーション	学習ノート 実験レポート プレゼンテーション
2学期	宇宙	1章　地球から宇宙へ 2章　太陽と恒星の動き 3章　月と金星の動きと見え方	a:惑星の特徴を理解し，日食・月食のときの太陽・月・地球の位置関係の違いや金星の見え方の変化を，太陽・金星・地球の位置関係の変化と十分理解できている。 b:惑星の特徴を理解し，日食・月食のときの太陽・月・地球の位置関係の違いや金星の見え方の変化を，太陽・金星・地球の位置関係の変化と理解できている。 c:惑星の特徴を理解し，日食・月食のときの太陽・月・地球の位置関係の違いや金星の見え方の変化を，太陽・金星・地球の位置関係の変化とあまり理解できていない。	期末テスト 単元テスト 実験レポート	実験レポート プレゼンテーション	学習ノート 実験レポート プレゼンテーション
	運動とエネルギー	1章　力の合成と分解 2章　物体の運動 3章　仕事とエネルギー 4章　多様なエネルギーとその移り変わり 5章　エネルギー資源とその利用	a:力の合成、物体が並行・斜面で行う動き、仕事・エネルギーの概念、エネルギーの変換や資源について十分理解できている。 b:力の合成、物体が並行・斜面で行う動き、仕事・エネルギーの概念、エネルギーの変換や資源について理解できている。 c:力の合成、物体が並行・斜面で行う動き、仕事・エネルギーの概念、エネルギーの変換や資源についてあまり理解できていない。	期末テスト 単元テスト 実験レポート	実験レポート プレゼンテーション	学習ノート 実験レポート プレゼンテーション
3学期	自然と人間	1章　自然界のつり合い 2章　さまざまな物質の利用と人間 3章　科学技術の発展 4章　人間と環境 5章　持続可能な社会を目指して	a:自然界のバランスを数量的に理解し、テクノロジーへの理解が十分にできている。 b:自然界のバランスを数量的に理解し、テクノロジーへの理解ができている。 c:自然界のバランスを数量的に理解し、テクノロジーへのあまり理解ができていない。	期末テスト 単元テスト 実験レポート	実験レポート プレゼンテーション	学習ノート 実験レポート プレゼンテーション

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度